

# 令和4年度 施策評価シート

## 1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施策	10 高齢福祉 ー高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めますー		
重点プロジェクト				
主管課	福祉部 高齢福祉課	評価責任者	増村 規子	
		評価日	令和5年6月1日	
関連課	協働推進課、文化・スポーツ振興課、環境課、社会教育課			
目標	高齢者が知識や経験を生かしながら、地域社会の中で趣味の活動やボランティア活動、就労などを通じて積極的な役割を果たし、生きがいを持って生き生きと健やかに暮らせる環境づくりを進めます。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 趣味やボランティア、交流活動の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者が地域で生きがいを持って暮らせるよう、スポーツ・レクリエーション・社会参加・世代間交流などを推進します。</li> <li>○高齢者がこれまで培ってきた知識や経験を様々な分野で生かし、ボランティア活動や地域づくりなどを通じて積極的に活動できる環境を整備します。</li> <li>○高齢者が安全に安心して活動できる拠点の確保を図ります。</li> <li>○高齢者の閉じこもりを 방지、積極的に地域で活動できるよう、移動手段の確保を図ります。</li> </ul> <p>(2) 就労機会の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者の就労について中心的役割を果たすシルバー人材センターと連携し、就労相談や就労機会の拡充に努めます。</li> </ul>			

## 2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	シルバー人材センター会員数					
		説明	高齢者が知識や経験を生かし地域社会の中で生きがいを持って暮らせるよう、シルバー人材センターと連携し、センターの周知を図った。令和4年度の新規入会者は255人、退会者は348人で退会者が上回った。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	2,200	2,260	2,320	2,380	2,440	2,500
		実績値	2,129	2,139	2,039	2,068	1,975	
	指標2	指標名	高齢者の施設利用者数（おおい老人福祉センター）					
		説明	高齢者の健康増進や利用者の交流を図るため、大井総合福祉センター内のおおい老人福祉センターの利用促進に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限の緩和に伴い令和3年度より利用者は増加した。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
		実績値	66,027	59,594	12,317	22,563	37,687	
	指標3	指標名	高齢者の施設利用者数（エコパ）					
		説明	高齢者の健康増進や利用者相互の交流を図るため、エコパの利用促進に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限の緩和に伴い、令和3年度より利用者は増加した。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000
		実績値	168,777	152,833	69,157	101,405	128,227	
	指標4	指標名						
		説明						
単位								
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	説明							
	単位							
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	404,226	163,022	293,024	277,434	143,569	233,450
	人件費	31,666	23,414	28,428	22,512	25,115	26,726
収入	特定財源	274,932	47,276	161,496	165,720	402	95,934
	一般財源	160,960	139,160	159,956	134,226	168,282	164,242

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗管理及び第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定	諮問機関である介護保険等運営審議会で第8期計画の進捗管理を行うとともに、調査結果を基に第9期計画を策定していく。 (第8期計画：令和3年度～令和5年度) (第9期計画：令和6年度～令和8年度)	介護保険等運営審議会（年間3回）で計画の進捗管理及び次期計画策定に係る審議を行い、アンケート調査を実施した。調査結果を基に第9期計画を策定していく。	高齢者保健福祉計画推進事業
取組②	高齢者の就労機会の拡充	2市1町共同による補助金交付により、シルバー人材センター健全運営の推進を図った。	①シルバー人材センター補助金として、ふじみ野市分10,099,132円を交付した。 ②シルバー人材センターの令和4年度契約額は1,182,453千円で、令和3年度1,160,197千円と比較して22,256千円(1.9%)の増となった。	シルバー人材センター支援事業
取組③	お出かけサポートタクシーの事業内容の見直し	高齢者等の交通手段の確保及び福祉の増進や外出の機会の提供を行うために実施している。新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を推奨するため、医療機関、集団接種会場までの交通手段としても活用できるように増車した。	令和3年度に、お出かけサポートタクシーの台数を通常の6台から9台に増やし、令和4年度は、さらに5台増やし、合計14台で運行した。 令和3年度延べ利用者数15,785人と比較し、令和4年度延べ利用者数16,440人で、655人の増となった。	長寿推進事業（一部）
取組④	地域密着型施設の整備	県から交付される地域密着型サービス等整備助成事業費等補助金を活用して整備する地域密着型サービスの整備に向けた準備を進めた。	グループホーム及び小規模多機能型居宅介護の令和4年度の整備を予定していたが、物価高騰や資材の調達難、建設業界の人材不足等が影響し、令和5年度に整備を進めることとなった。	高齢者福祉施設整備等支援事業
取組⑤	大井総合福祉センターの適正な運営	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、運営した。また、西側地域の介護予防拠点『ふじみんぴんしゃんホール』を本格稼働した。	令和3年度に整備した『ふじみんぴんしゃんホール』を本格稼働し、介護予防、フレイル対策及び健康づくりを推進した。また、老朽化した電話設備を更新した。	大井総合福祉センター管理運営事業

5. 評価

評価	
指標の達成状況	第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく事業が概ね順調に進められている。
おおむね順調	令和4年度においては、新型コロナウイルスワクチンの接種の促進及び外出機会の確保を図るため、お出かけサポートタクシーの台数を通常より8台増車（令和3年度の3台増車に続き、令和4年度に5台増車）し、14台体制で利用を促進した。
行政資源の活用	大井総合福祉センターでは、市内西側地域の介護予防の拠点として整備した『ふじみんぴんしゃんホール』を本格稼働し、延べ8,008人がホールを利用し、介護予防に取り組んだ。
適切	引き続き、ライフスタイルの多様化などに対応した高齢者の生活・地域づくりに向け、ニーズを把握し、工夫しながら事業展開を行う必要がある。誰もが住み慣れた地域で生き生きと暮らし続けることのできる地域共生社会の実現のため、既存のサービスの検証を進めながら支援体制の充実を図る。
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		高齢者保健福祉計画推進事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施策	10 高齢福祉 ー高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めますー		
予算費目		一般会計 03民生費 01社会福祉費 03老人福祉費		
所管部課		福祉部 高齢福祉課	評価責任者	齊藤 晶子
事務事業期間		平成12年度～	評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		介護保険法（平成9年法律第123号）、老人福祉法（昭和38年法律第133号）		
事務事業の内容	事務事業の目的	老人福祉法及び介護保険法に定められた高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定を行う。計画は3年を計画期間として策定する。また、計画の進捗管理を実施し、市の高齢者保健福祉及び介護保険事業の計画的な運営を図る。		
	事務事業の経緯	介護保険法により、市町村は3年を1期とする介護保険事業計画を高齢者保健福祉計画と一体のものとして作成することとされている。本市では、作成年度に庁内検討委員会を設置し、諮問機関である介護保険等運営審議会へ諮問し計画策定を行っている。		
	事務事業の概要	3年ごとに高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を策定する。計画は介護保険等運営審議会を開催し、原案を策定している。策定した計画は、審議会により進捗管理を実施している。介護保険等運営審議会は、地域包括支援センター運営協議会も兼ね、地域密着型サービスの運営に関する審議も実施する。		
	令和4年度の主な取組	第8期計画に示された各種事業計画について、介護保険等運営審議会に進捗を報告し、審議を行った。また、令和6年度から令和8年度を計画期間とする第9期計画策定に向けて「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」「在宅介護実態調査」「介護サービス事業所調査」を行った。 令和4年度は、第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）の2年目の年度となる。第8期計画の進捗管理を行うとともに、第9期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）策定に向けてアンケート調査（①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、②在宅介護実態調査、③若年者調査、④介護サービス事業所調査）を行う。		

## 2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.59	0.70
		人件費	4,690	5,576
	再任用職員	従事人数(人)	0.65	0.65
		人件費	3,289	3,427
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00
	人件費	0	0	
人件費計		7,979	9,003	8,853
事業費	報酬※	306	313	911
	賃金※	0	0	0
	需用費	29	30	43
	委託料	0	3,740	3,000
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	25	20	102	
支出合計		8,339	13,106	12,909
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	0	0
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	0	0
一般財源		8,339	13,106	12,909
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		73	115	112

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	計画の進捗管理における達成割合		
	説明	計画の各事業の今後の方向性を踏まえ、計画に対する事業の進捗・事業効果等を総合的に検討し、毎年度自己評価を行っている。この自己評価のうち、「○計画どおりの事業展開を図ることができ、大きな成果があった。」「△計画に基づき事業を実施し、一定の成果を得ることができた。」の割合。		
成果	単位	%		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	100	100	100
	実績値	100	100	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)の概要等</p> <p>計画の目的・特徴</p> <p>ふじみ野市における高齢者保健福祉計画に関する総合的計画と介護保険事業に関する事業計画を合わせたものであり、市の高齢者保健福祉施策の総合的指針となるものである。</p> <p>第8期計画は、第7期計画までの「みんなで支え合い いつまでも健やかに暮らせるまち」の基本理念を踏襲し、団塊の世代が75歳以上となる2025年、更には団塊ジュニア世代が65歳以上となり、労働人口の減少、高齢者人口のピークが見込まれる2040年を見据え、「サービス基盤・人的基盤の整備」「地域共生社会の実現」「介護予防健康づくり施策の充実・推進」「認知症施策の推進」等を目指す中長期的な視点から策定した。</p> <p>基本理念と基本目標</p> <p>高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも、自分らしく、安心して、豊かな生活を送れるまちを、全ての世代の市民とともに支え合いながらつくりあげていくことを目指し、基本理念を「みんなで支え合いいつまでも健やかに暮らせるまち」と決定した。また、以下の4つを基本目標とした。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. いつまでも健康で自立した生活を継続できるまち</li> <li>2. 住み慣れた地域で支え合いながら暮らせるまち</li> <li>3. 安心して介護が受けられるまち</li> <li>4. 快適にいきいきと暮らせるまち</li> </ol> <p>計画の進行管理</p> <p>計画の進行管理については、介護保険等運営審議会において、計画の進捗状況の評価・点検を実施する。</p> <p>次期計画策定に向けた取組</p> <p>第9期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定にむけて、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」「在宅介護実態調査」「介護サービス事業所調査」を実施し、日常生活圏域単位での課題抽出を行った。</p>

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	次年度以降の取組み 介護保険等運営審議会を中心に、第8期期間中の各種サービスの利用状況、要介護等認定者の状況、施設整備状況などについての検証を行う。また、第9期計画策定に向けた計画内容等の調査研究を行う。
中長期的方向性	
継続	

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		シルバー人材センター支援事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施策	10 高齢福祉 ー高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めますー		
予算費目		一般会計 03民生費 01社会福祉費 03老人福祉費		
所管部課		福祉部 高齢福祉課	評価責任者	齊藤 晶子
事務事業期間		昭和62年度～	評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		高齢者等の雇用の安定等に関する法律（昭和46年法律第68号） ふじみ野市シルバー人材センター補助金交付要綱		
事務事業の内容	事務事業の目的	高齢者の就労機会の拡大、健康で生きがいのある生活の実現などを旨とする趣旨のもと設置されたシルバー人材センターに対し、補助金を支出しその活動を支援する。		
	事務事業の経緯	平成28年4月にふじみ野市・富士見市・三芳町のシルバー人材センターが合併し、(公社)入間東部シルバー人材センターが発足した。補助金については、協定により基本割額（国基準）と人口割額の合算額を市町それぞれの補助額とした。		
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容の審査及び補助金の支出</li> <li>・法人の事業運営の確認</li> <li>・法人の運営等に関する連絡調整等及び活動の支援</li> </ul>		
	令和4年度の主な取組	(公社)入間東部シルバー人材センターに対し、市・町の協定により定められた補助金を交付するとともに、センターの健全運営への支援を行った。  会員拡大を図るため、入間東部シルバー人材センターとして、啓発事業を開催、また、パンフレットの作成・配布等を通じたPR活動を展開する。 市では、入間東部シルバー人材センターへの補助金交付を行い、これら啓発事業を支援する。		

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.03	0.10	0.10
		人件費	239	797	795
	再任用職員	従事人数(人)	0.07	0.07	0.07
		人件費	355	369	355
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
人件費	0	0	0		
人件費計		594	1,166	1,150	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	10,101	10,099	10,092	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	4	4	5		
支出合計		10,699	11,269	11,247	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源	10,699	11,269	11,247		
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		94	99	97	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。



### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	契約金額		
	説明	シルバー人材センターの受注実績である契約金額を成果指標とする。契約金額を増やすための啓発事業として、シルバー人材センター主催のコンサート及び富士見市・三芳町との共催による講演会を実施している。また、コロナ禍では新聞折り込みチラシや産業まつりへ参加している。※確定後入力		
成果	単位	千円		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	1,210,000	1,240,000	1,250,000
	実績値	1,160,196	0	
指標 2	指標名	シルバー人材センター会員数		
	説明	高齢者が就労を通じて生きがいや健やかに暮らせる環境づくりを推進する指標（年度末会員数）。会員数を増やすための啓発事業として、シルバー人材センター主催のコンサートや講演会などを実施。また、会員勧奨のためシルバー人材センターでチラシを作成し、公共施設で配布。また、初年度会費免除のキャンペーンを実施する。（前期基本計画の指標）※確定後入力		
成果	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	2,380	2,350	2,500
	実績値	2,068	1,975	
指標 3	指標名			
	説明			
成果	単位			
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>高齢者等の雇用の安定等に関する法律が改正され、令和3年4月から、個々の労働者の多様な特性やニーズを踏まえ、70歳までの就業機会の確保について、多様な選択肢を法制度上整え、事業主としていづれかの措置を制度化する努力義務を設けることとされた。</p> <p>シルバー人材センターの70歳未満の会員の割合は減少しており、70歳以上の会員が80%を占めている状況である。そのような中でも就業率の向上に努め、地域の高齢者の社会参加による生きがいを充実し、地域社会の福祉と活性化に寄与するため、臨時的かつ短期的な就業又はその他軽易な就業を希望する高齢者に働く場を提供している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふじみ野市・富士見市・三芳町共同による補助金交付及び事業支援の実施により、シルバー人材センターの健全運営とともに、シルバー世代への就労支援を図ることができた。</li> <li>・会員数・契約数を増やすため、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を行ったうえで、各種行事への参加やチラシの配布などを行っている。</li> <li>・契約金額は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により受注が減り、減少となった。</li> <li>・会員登録勧奨のためシルバー人材センターでチラシを作成し、公共施設等で配布を行った。</li> </ul>
--------------	---

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	高齢者の生きがい対策や就労機会の提供の観点から、引き続きシルバー人材センターへの支援を行う。
中長期的方向性	
継続	

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		長寿推進事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施策	10 高齢福祉 ー高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めますー		
予算費目 一般会計 03民生費 01社会福祉費 03老人福祉費				
所管部課 福祉部 高齢福祉課			評価責任者	齊藤 晶子
事務事業期間 昭和33年度～			評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等 ふじみ野市敬老祝金支給条例 ふじみ野市老人クラブ連合会事業補助金交付要綱 ふじみ野市単位老人クラブ事業補助金交付要綱 ふじみ野市お出かけサポートタクシー事業実施要綱 外				
事務事業の内容	事務事業の目的	高齢者が健康で生きがいのある生活を送れるよう、施設の管理運営、団体の支援等を行う。また、敬老の意を表し、祝金の支給をもって長寿を祝福する。さらに、高齢者の外出の機会を提供するためお出かけサポートタクシー事業を実施する。		
	事務事業の経緯	老人クラブについては、本市(合併前)では昭和40年度より補助金支出による財政支援等を実施。敬老祝金は、旧上福岡市は昭和33年、旧大井町は昭和39年に事業開始となっている。お出かけサポートタクシー事業は平成28年4月に開始した。なお、ふれあいプラザかみふくおかは令和2年11月30日で閉館となった。		
	事務事業の概要	本事業に位置づけている高齢者の生きがい対策は、主として次のとおりである。 ・ゲートボール場の管理運営及び利用者団体の育成。 ・老人クラブの育成、活動支援のため、補助金を交付し財政的援助を行うとともに、必要に応じ助言など支援を実施。 ・敬老祝金の支給。 ・お出かけサポートタクシー事業の実施(令和2年度から運行方法変更:運行範囲拡大(乗降場所自由)。利用回数:補助に上限)。		
	令和4年度の主な取組	【ゲートボール場】スポーツを通じて、高齢者が健康で生きがいのある生活を送れるよう支援。 【老人クラブ】老後の生活を豊かなものにしていくため、概ね60歳以上の方でクラブをつくり、趣味・教養・娯楽などの交流や社会活動を行う老人クラブに対し支援を行っている。 【敬老祝金】市内に引き続き2年以上居住しており、対象年齢になった方に敬老祝金を支給。 【お出かけサポートタクシー】タクシーの利用料金の半額を助成し、高齢者の外出の機会を提供した。また、令和2年度から事業内容の見直し、運行範囲の拡大、共通乗降場の撤廃等を行って実施した。		

## 2. 事務事業費・人件費

(単位:千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.99	1.10
		人件費	7,869	8,762
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00
		人件費	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	1.00
	人件費	0	0	
人件費計		7,869	8,762	10,652
事業費	報酬※	1,779	1,215	1,955
	賃金※	0	0	0
	需用費	286	124	199
	委託料	442	778	417
	使用料及び賃借料	634	634	1,323
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	12,803	13,671	23,081
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	20,140	19,238	27,460	
支出合計		43,953	44,422	63,178
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	416	402
		使用料・手数料	0	0
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	0	0
一般財源		43,537	44,020	62,756
市民1人あたりの負担コスト(単位:円)		381	386	543

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	老人クラブ会員数		
	説明	高齢者施設等を拠点として活動する老人クラブ会員数を成果指標とする。 ※いきいきクラブ会員募集のチラシ配布等の周知活動を行っているが、入会する高齢者が少なく、会員の高齢化が進み、役員の担い手不足から連合会を脱退するクラブもあり減少している。※令和2年度実績が目標値を大きく下回ったため令和3年度の目標値を見直し、2,052人から1,600人に変更する。		
成果	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	1,600	1,300	1,300
	実績値	1,310	1,103	
指標 2	指標名	敬老祝金支給者数		
	説明	敬老祝金を支給した長寿の方の人数を成果指標とする。なお、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、振り込みによる支給を行った。		
成果	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	2,135	1,700	1,700
	実績値	1,685	1,437	
指標 3	指標名	お出かけサポートタクシー延べ利用回数		
	説明	高齢者が外出する際の交通手段を確保し、外出機会を促進することで閉じこもりの防止・介護予防を図ることを目的としているため、年度末の登録者数を指標とした。		
成果	単位	回		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	0	0	0
	実績値	15,785	15,272	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【ゲートボール場】 スポーツを通じて、高齢者が健康で生きがいのある生活を送れるよう支援している。高齢福祉課が管理しているゲートボール場は、上福岡ゲートボール場をはじめ、4か所ある。</p> <p>【老人クラブ】 老後の生活を豊かなものにしていくため、概ね60歳以上の方でクラブをつくり、趣味・教養・娯楽などの交流や社会活動を行う老人クラブに対し支援を行っている。また、地域ごとに市と共催で講演会等を開催するなどし、地域での交流を深めている(令和4年度末現在 24団体1,103人が加入)。</p> <p>【敬老祝金】 市内に引き続き2年以上居住しており、対象年齢になった方に敬老祝金を支給。支給対象者は、喜寿・米寿・白寿</p> <p>【お出かけサポートタクシー】 タクシーの利用料金の一部を助成し、高齢者等の交通手段の確保及び福祉の増進や外出の機会を提供している。対象者は、市内に住所を有し65歳以上で申請により登録証の交付を受けた方。 新型コロナウイルスのワクチン接種を推奨するにあたり、医療機関、集団接種会場までの交通手段としての利用も考慮し、タクシーの6台から3台増やし、9台体制を運行を実施。</p>
------------------	--

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	今後の高齢社会の進行を踏まえ、事業内容については検討していく必要があるが、長寿推進のための事業は必要なものと考えている。一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増加する中、生きがいを持って生活し地域において活動していくことは今後ますます重要なものとなる。必要に応じた見直しを行いながら、事業の継続をしていくことが重要である。
中長期的方向性	
継続	



# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		高齢者福祉施設整備等支援事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～		
	施策	10 高齢福祉 ー高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めますー		
予算費目		一般会計 03民生費 01社会福祉費 03老人福祉費		
所管部課		福祉部 高齢福祉課	評価責任者	齊藤 晶子
事務事業期間		平成28年度～	評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市高齢者福祉施設整備補助金交付要綱、ふじみ野市施設開設準備経費助成特別対策事業費補助金交付要綱、ふじみ野市介護保険事業計画		
事務事業の内容	事務事業の目的	高齢者福祉施設を介護保険事業計画に基づき計画的に整備し、高齢者に良質で安定した介護サービスを提供するとともに、市内に高齢者福祉施設を整備する法人に対して整備費等に係る負担の軽減を図る。		
	事務事業の経緯	国の三位一体改革に伴う補助金制度の見直しにより従来の国・県による補助制度が廃止され、平成17年度より「地域介護・福祉空間整備等交付金」が創設された。なお、平成28年度に同交付金のメニューが見直され、新たに「埼玉県地域密着型サービス等整備助成事業費等補助金交付要綱」が創設された。		
	事務事業の概要	国・県から交付される補助金を活用して、市内に地域密着型の高齢者福祉施設を整備する法人に対して整備費等の一部を助成する補助金を交付する。施設整備費に係る補助金及び開設準備経費に係る補助金からなる。		
	令和4年度の主な取組	第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に基づき、令和3年度に公募により選定された法人である医療生協さいたま生活協同組合により、令和4年度に認知症対応型共同生活介護（定員18人）、小規模多機能型居宅介護（登録定員29人）を併設した施設整備を進めていたが、物価高騰や資材の調達難、建設業界の人材不足等が影響し、建設工事の入札が不落を重ね、令和4年度中の開設が困難な状況となり、令和5年度事業として実施することとなった。		

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.31	0.30
		人件費	2,464	2,385
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00
		人件費	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00
	人件費	0	0	
人件費計		2,464	2,470	2,385
事業費	報酬※	0	0	0
	賃金※	0	0	0
	需用費	0	85	357
	委託料	0	0	0
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	23,830	93,935
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	0	0	0	
支出合計		2,464	26,385	96,677
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	93,213
		使用料・手数料	0	0
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	0	0
一般財源		2,464	26,385	3,464
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		22	231	30

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	地域密着型特別養護老人ホームの床数		
	説明	地域密着型特別養護老人ホームの入居（入所）可能となる人数を把握する指標である。		
成果	単位	床		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	58	58	58
	実績値	58	58	
指標 2	指標名	グループホームの床数		
	説明	グループホームの入居（入所）可能となる人数を把握する指標である。		
成果	単位	床		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	81	99	99
	実績値	81	81	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【高齢者福祉施設整備補助金】
	・事業概要 高齢者福祉施設の整備費等の一部を助成することで、高齢者施設等の整備を促進し、高齢者福祉の向上を図ることを目的とする。
	・対象事業所種別 認知症高齢者グループホーム、地域密着型介護老人福祉施設等
	・補助額 埼玉県の定める基準額を上限として補助を行う。
【施設開設準備経費助成特別対策事業費補助金】	
・事業概要 高齢者福祉施設の開設に係る準備経費の一部を助成することで、高齢者施設等の整備を促進し、高齢者福祉の向上を図ることを目的とする。	
・対象事業所種別 認知症高齢者グループホーム、地域密着型介護老人福祉施設等	
・補助額 埼玉県の定める基準額を上限として補助を行う。	
【令和4年度内容】	
予定していた令和4年度での施設整備はできなかったが、引き続き、埼玉県や事業者と調整を行い、第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の最終年度である令和5年度での施設整備を目指す。	

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）に基づき、市内に高齢者福祉施設を整備する法人に対して、県の補助金を活用し補助を実施する。
中長期的方向性	
継続	

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		大井総合福祉センター管理運営事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～			
	施策	10 高齢福祉 ー高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めますー			
予算費目		一般会計 03民生費 01社会福祉費 04総合福祉センター費			
所管部課		福祉部 高齢福祉課	評価責任者	齊藤 晶子	
事務事業期間		平成14年度～	評価日	令和5年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等		老人福祉法（昭和38年法律第133号） ふじみ野市立大井総合福祉センター条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	高齢者及び障がい者の自立の促進及び健康の増進を図るとともに、市民の相互交流と福祉の向上に資することを目的とする。			
	事務事業の経緯	大井総合福祉センターは平成14年度に開設し、高齢者及び障がい者の方に対して、地域福祉の拠点的作用を持つ施設として、常に良好な環境を保つよう維持管理及び運営を行っている。平成24年4月からは事業を効果的かつ効率的に行うため、指定管理者制度を導入している。			
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>協定の作成及び指定管理者選定事務（5年ごと）</li> <li>協定書に基づき指定管理者が実施する施設管理・健康相談・自主事業などの進捗管理</li> <li>危機管理体制の整備及び対応</li> <li>個別施設計画に基づいた維持管理のための修繕・設備の更新</li> <li>モニタリングの実施</li> </ul>			
	令和4年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度は、機器の老朽化に伴い電話機及びその回線の更新（修繕）を実施した。</li> <li>入浴施設用のボイラーについても、老朽化が進んでいるので、利用状況等を踏まえ、将来的なあり方を検討した上で、更新を実施する。なお、更新工事については浴室設備の更新の必要性等も併せて建築課と協議を行い、令和5年度に設計委託、令和6年度に更新工事の予定で準備を進めることとなった。</li> <li>令和3年度に改修工事を行った『ふじみんびんしゃんホール』では、開館する月曜日～土曜日のお昼の時間（12時～12時45分）に、予約なしで参加できる『ふじみんびんしゃん体操（通称昼ぴん）』を実施するほか、地域資源を活用した介護予防等の事業を展開し、西地域の介護予防の拠点として充実を図った。</li> </ul>			

## 2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.39	0.40
		人件費	3,100	3,186
	再任用職員	従事人数(人)	0.10	0.10
		人件費	506	528
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00
	人件費	0	0	
人件費計		3,606	3,714	3,686
事業費	報酬※	0	0	0
	賃金※	0	0	0
	需用費	0	3,762	0
	委託料	66,442	65,986	72,426
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工事請負費	160,807	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	3,636	40	53	
支出合計		234,491	73,502	76,165
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	0	0
		分担金・負担金	0	0
		地方債	132,900	0
		基金	32,404	0
		その他	0	0
一般財源	69,187	73,502	73,866	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		605	644	639

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	開館日数		
	説明	サービス提供量の開館日数を活動指標とする。		
活動	単位	日		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	293	293	295
	実績値	294	294	
指標 2	指標名	おおい老人福祉センター新規利用登録者数		
	説明	おおい老人福祉センターについては、より広く高齢者に利用されることをめざし事業展開を行うことから、新規利用登録者数を指標とする。令和2,3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり新規登録者数が伸び悩んだ。行動制限は緩和されているが、社会的活動の回復が漸次的であることが想定されるため、令和4年度の新規登録者数見込みは令和元年度の実績値に設定する。		
活動	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	250	165	165
	実績値	83	190	
指標 3	指標名	介護予防講座・教室参加者数		
	説明	令和2年度から、施設の指定管理事業に介護予防事業として講座・教室の実施が盛り込まれたことから、この事業への参加実人数を評価指標とする。令和3年度は年間を通して安定的な参加があったことから実績が大幅に増加したため、令和4年度も同程度の参加が見込まれる。加えて介護予防に関する認識の広まりにより参加人数が増えることを見込み、900件を目標値とする。		
活動	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	450	900	900
	実績値	783	2,182	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【大井総合福祉センターの概要】</p> <p>大井総合福祉センターは、高齢者及び障がい者の自立の促進及び健康の増進を図るとともに、市民の相互交流と福祉の向上に資するため、平成14年度に複合施設として開館した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者施設として、入浴施設や運動・交流等できる『おおい老人福祉センター』を2階部分に設置している(高齢福祉課所管)。</li> <li>・障がい者施設として、1階部分に『大井デイケアセンター』を設置し、入間東部福祉会が運営(障がい福祉課所管)。また、3階部分には、『障がい者総合相談支援センター(りあん)』を一部委託で設置している(障がい福祉課所管)。</li> <li>・平成28年度からNPO法人により、『市民大学ふじみ野』をセンター3階に開校し高齢者を含む多くの市民のまちづくりを考える場として活用している(協働推進課所管)。</li> <li>・4階部分には、社会福祉協議会大井支所が入居。</li> <li>・その他として、多目的ホールや会議室(3室)を有し、高齢者・障がい者団体等に貸出し、活動の場として支援を行っている。</li> </ul> <p>【おおい老人福祉センターについて】</p> <p>利用対象者：60歳以上の方及び障害者手帳の交付を受けている方等(未就学児は不可)</p> <p>利用料：市内在住の60歳以上の方及び障害者手帳の交付を受けている方は無料。市内在住の60歳未満の方は300円、市外の方は600円</p> <table border="1"> <tr> <td>利用者数</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> </tr> <tr> <td>(男性)</td> <td>31,512人</td> <td>6,603人</td> <td>11,795人</td> <td>19,374人</td> </tr> <tr> <td>(女性)</td> <td>28,082人</td> <td>5,714人</td> <td>10,210人</td> <td>18,313人</td> </tr> <tr> <td>(合計)</td> <td>59,594人</td> <td>12,317人</td> <td>22,563人</td> <td>37,687人</td> </tr> </table> <p>※平成14年度から、受付・管理業務をシルバー人材センターに委託</p> <p>【ふじみんびんしゃんホールについて】</p> <p>昼ぴんには、のべ6,608人が参加した。また、ぴんしゃんホール全体としてはのべ8,008人が利用した。</p>	利用者数	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(男性)	31,512人	6,603人	11,795人	19,374人	(女性)	28,082人	5,714人	10,210人	18,313人	(合計)	59,594人	12,317人	22,563人	37,687人
	利用者数	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																
(男性)	31,512人	6,603人	11,795人	19,374人																	
(女性)	28,082人	5,714人	10,210人	18,313人																	
(合計)	59,594人	12,317人	22,563人	37,687人																	

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>高齢者・障がい者の自立の促進及び健康の増進を図るとともに、市民の相互交流と福祉の向上に資することを目的とした施設であり、高齢福祉施設及び障がい福祉課所管施設、協働推進課所管施設、社会福祉協議会などの複合施設として有効活用が図られている。</p> <p>おおい老人福祉センターについては、自主事業やイベントの継続を図り、新規利用者の獲得につなげていくとともに、介護予防や栄養改善に関する事業を指定管理者の事業として開催していく。また、利用者が安心かつ安全に過ごせるよう、老朽化が進み、特にボイラーについては交換する時期に来ていることから、優先順位を定め計画的に施設管理(保守点検、清掃、修繕)を行っていく。</p> <p>令和4年度からふじみんびんしゃんホールが開設し、お昼にびんしゃん体操を実施する通称昼ぴんの充実により、利用者も徐々に増えつつある。</p>
中長期的方向性	
継続	